

現場で働くみなさまへ（長野労働局長工事現場パトロール挨拶要旨）

令和3年6月23日

皆さんおはようございます。長野労働局長の小野寺と申します。

（中略）

まず、皆さんにちょっとしたお願いです。
あなたにとって、大切な人を思い浮かべてみてください。

あなたが今思い浮かべたその人たちと、これからも一緒に楽しい時間を過ごしてほしい、だから、そのために、ずっと安全にお仕事をしてください。
それが、本日私から申し上げたいことです。

労働災害というのは、例えば、「お疲れさん」と、隣で働いていた仲間が、突然いなくなってしまうことです。朝いつもどおりに「ってきます」と出かけたはずのお父さんが、そのまま帰ってこなくなってしまうことです。

あなたが先ほど思い浮かべた人たちにとって、あなたは大切な人です。あなたがいるからうれしくて、楽しい、そう思ってくれている人たちです。そんな人たちを悲しませないでほしい。大切な人を突然失う痛みを、私は誰にも味わってほしくない。

だから、今日も安全に気を付けて働いて、「ただいま」、とお家に帰ってください。明日も「おはよう」、と元気にここに来てください。

皆さんが今建てているこの災害公営住宅は、2年前の台風で被災された方々のためのものです。苦しい思いをされている方々の期待を背負いながら、皆さんは働いていることかと思えます。そんな事情などもあり、つい気がはやってしまうときもあるかもしれません。それでも、やっぱりあなたが、今日もいつものようにお家に帰ってきてくれることが、何よりも大切なのです。だから、急ぎたくなる時も落ち着いて、安全を確かめて、お仕事をしてください。

ヘルメットをしっかりとかぶる、脚立を正しく使う、暑い日には水を飲む。「当たり前」と思うことや小さなことなのかもしれませんが、今一度気を配っていただいて、安全にお仕事をしてください。

まずは今日、安全に働いて、「ただいま」と帰りましょう。そんな日々を積み重ねて、大好きな人たちといつまでも笑いあいましょう。それでは今日も、「ご安全に」。

長野労働局長 小野寺 喜一